



マーケット・レポート

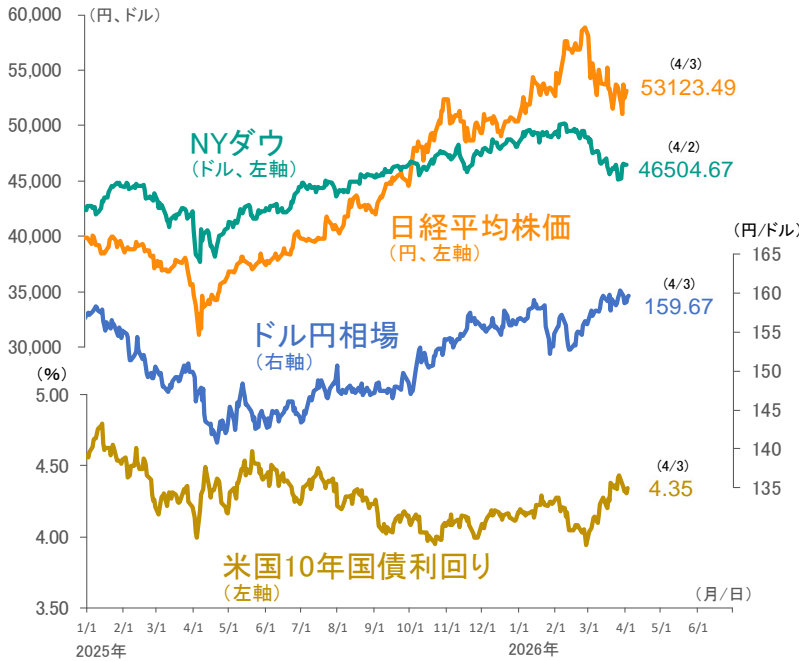
Weekly Guide

2026.4.6

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米国が早期に対イラン軍事行動を停止するとの期待が高まり株式・債券ともに買い戻しが優勢となりました。NYダウは週間で+3.0%、ナスダック総合指数は同+4.4%といずれも6週ぶりに反発。独DAX指数は同+3.9%。日経平均株価は同▲0.5%と反落しました。10年国債利回りは米国が前週末比▲8bpの4.35%、ドイツは同▲10bpの2.99%、日本は同▲0.2bpの2.39%に低下しました。ドル円相場は前週末比64銭円高・ドル安の159円67銭。WTI期近は前週末比+11.9%の111.5ドル/バレルに上昇しました。

今週は、日・米でインフレ関連指標の発表が相次ぎ、月末の金融政策会合での政策変更の有無を見極める材料として注目されます。また先週末111ドル台まで上昇した原油価格の動向が引き続きマーケットを動かす材料となります。トランプ大統領は先週の米国民向け演説で向こう2-3週間は軍事攻勢と同時にイランとの交渉を続けると述べており、その進展が期待されます。

当面の注目イベント

- ◆米・3月NY連銀消費者期待インフレ率 (7日)
- ◆日・2月実質賃金総額 (8日)
- ◆米・2月コアPCEデフレーター (9日)
- ◆日・3月銀行貸出動向 (10日)
- ◆日・国内企業物価 (10日)
- ◆米・3月コアCPI (10日)

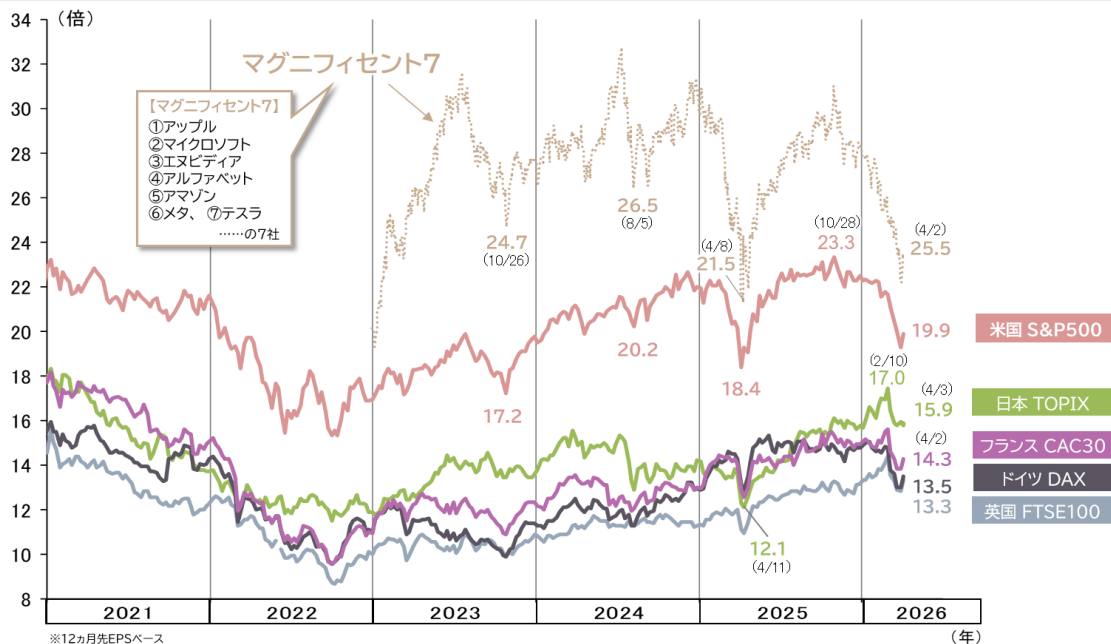
原油価格と米国のガソリン価格は密接に連動します。原油高騰が続いた場合、ガソリン価格の上昇を通じてインフレ再加速の懸念や国民の不満が高まることが予想され、トランプ政権は対応を迫られることが予想されます



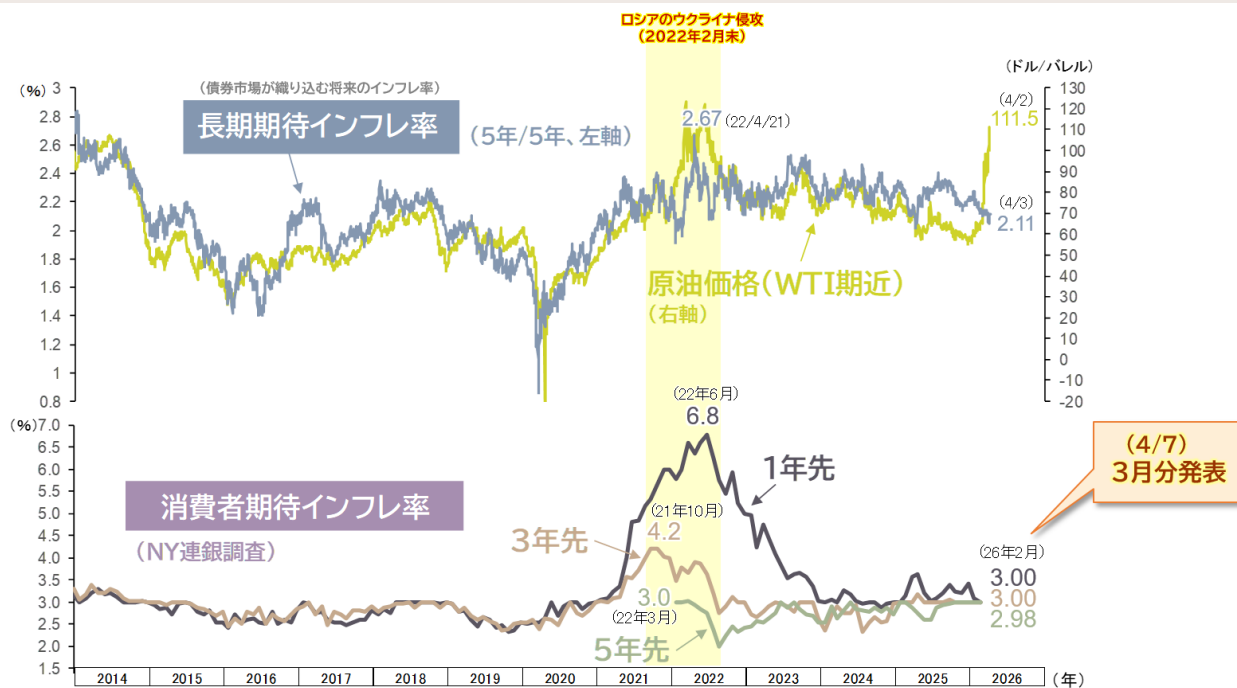
【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

米S&P500指数の予想PERは先週末時点で19.9倍です。25年末に付けたピーク23倍台からは調整が進んでいますが、過去平均（AI相場が始まる2022年末以前の10年間の平均値は17.5倍）に比べまだ割高感が残ります



NY連銀の3月消費者期待インフレ率が7日に発表されます。イラン情勢の悪化で原油価格が急上昇した後でもFRBが重視する長期の期待インフレ率が低位安定を続けているかを確認する指標として注目されます



次回は 2026年4月13日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。